

令和3年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【葬送について】

- 調査期間 : 令和3年(2021年)9月6日(月曜日)～9月17日(金曜日)
- 調査方法 : インターネット(クローズ型)
- 設問数 : 全46問
- 調査対象者 : 15歳以上の札幌市民 480人
性別内訳(男性:240人 女性:240人)
年齢別内訳(30代以下:120人 40代:120人 50代:120人 60代以上:120人)

Q1. あなたはご自身や家族・親族が亡くなった時のことについて考えたことがありますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 ある	359	74.8
2 ない	121	25.2
全体	480	100.0

Q2. あなたはご自身や家族・親族が亡くなった時のことについて誰かに相談したり、一緒に考えたりしたことはありますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 ある	210	59.5
2 ない	143	40.5
全体	353	100.0

Q3. あなたがご自身や家族・親族が亡くなった時のことを相談した相手または一緒に考えた人は誰ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 家族・親族	204	97.1
2 友人・知人	50	23.8
3 葬祭業者、石材業者、民間墓地経営者などの葬送関連事業者	30	14.3
4 葬送関連のNPO法人	1	0.5
5 行政	2	1.0
6 その他	2	1.0
全体	210	100.0

Q4. Q3であなたが誰かに相談したこと、または誰かと一緒に考えたことは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 身の回りの整理や家財の処分のこと	122	58.4
2 預金や不動産などの財産相続のこと	103	49.3
3 亡くなった時に必要な手続きのこと	105	50.2
4 葬儀のこと	155	74.2
5 遺骨を納めるお墓や納骨堂のこと	112	53.6
6 必要な費用のこと	73	34.9
7 その他	2	1.0
全体	209	100.0

令和3年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【葬送について】

Q5. あなたがご自身や家族・親族が亡くなった時のことについて誰かに相談したり、一緒に考えたりしたきっかけは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 お盆や年末年始などに親族が集まったこと	22	10.5
2 親族や知人の葬儀に参列したこと	72	34.3
3 親族や知人の訃報を聞いたこと	46	21.9
4 墓参りをしたこと	29	13.8
5 お墓や納骨堂を買ったこと	8	3.8
6 葬送関係の相談会に参加したこと	2	1.0
7 葬送関係の広告・チラシ・CMなどを見たこと	14	6.7
8 自分が高齢だから	34	16.2
9 家族・親族が高齢だから	116	55.2
10 亡くなった後に周囲の人に迷惑をかけないように準備したいから	72	34.3
11 葬送のことを話し合うための資料を手に入れたこと	8	3.8
12 その他	5	2.4
全体	210	100.0

Q6. あなたがご自身や家族・親族が亡くなった時のこと誰かに相談したり、一緒に考えたことがない理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 一人で考えたいから	32	22.5
2 家族や親族などの相談できる相手がいないから	27	19.0
3 家族や親族などに不要な心配をかけたくないから	41	28.9
4 相談窓口などの相談先がわからないから	16	11.3
5 まだ先のことだと思うから	68	47.9
6 その他	6	4.2
全体	142	100.0

Q7. あなたはご自身や家族・親族が亡くなった時に備えて、実際に行動したり準備したりしていることはありますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 ある	133	38.6
2 ない	212	61.4
全体	345	100.0

Q8. あなたがご自身や家族・親族が亡くなった時に備えて、実際に行動したり準備したりしていることは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 書籍、雑誌、新聞記事での情報収集	48	36.1
2 インターネットでの情報収集	63	47.4
3 Youtube等動画での情報収集	7	5.3
4 お墓・終活等に関する相談窓口での相談	4	3.0
5 専門家への相談	11	8.3
6 終活に関するイベントへの参加	7	5.3
7 お墓の手続きや葬儀の方法・費用について、家族など大事な人との情報共有	50	37.6
8 お墓や葬儀(棺、骨壺など)の生前予約	8	6.0
9 終活ノートの作成	22	16.5
10 遺言書の作成	8	6.0
11 その他	12	9.0
全体	133	100.0

令和3年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【葬送について】

Q9. あなたがご自身や家族・親族が亡くなった時に備えて実際に行動したり準備したりしたきっかけは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 葬送のことを話し合うための資料を手に入れたこと	21	15.9
2 葬送関係の広告・チラシ・CMなどを見たこと	20	15.2
3 親族や知人の葬儀に参列したこと	48	36.4
4 親族や知人の訃報を聞いたこと	35	26.5
5 墓参りをしたこと	19	14.4
6 家族や知人に誘われて葬送関係のイベントに参加したこと	3	2.3
7 自分が高齢だから	19	14.4
8 家族・親族が高齢だから	70	53.0
9 亡くなった後に周囲の人に迷惑をかけないように準備したいから	50	37.9
10 家族や知人の話を聞いて必要だと思ったから	17	12.9
11 外出先や新聞、書籍、インターネットなどでたまたま情報を目にして興味をもったから	6	4.5
12 その他	3	2.3
全体	132	100.0

Q10. あなたが亡くなった時に備えて実際に行動したり準備していない理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 時間がかかるから	24	12.2
2 費用がかかるから	18	9.2
3 家族・親族などが反対しているから	0	0.0
4 相談相手がいないから	14	7.1
5 どうしていいかわからないから	72	36.7
6 いずれは必要だと思うがまだ準備する必要はないから	123	62.8
7 必要性を感じないから	21	10.7
8 考えたこともなかった	7	3.6
9 その他	5	2.6
全体	196	100.0

Q11. あなたが亡くなった時のことについて考えたことがないのはなぜですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 縁起でもないから	27	23.7
2 亡くなった時のことは考えたくないから	31	27.2
3 まだ考える必要がないから	27	23.7
4 身近な人が亡くなった時に考えるから	14	12.3
5 亡くなった後のことはどうでもいいから	4	3.5
6 何を考えたらいいのかわからないから	40	35.1
7 興味がないから	10	8.8
8 その他	2	1.8
全体	114	100.0

Q12. ご自身や家族・親族が亡くなった時に備えて、あなたが知りたいことは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 身の回りの整理や家財の処分のこと	293	61.0
2 預金や不動産などの財産相続のこと	259	54.0
3 葬儀のこと	282	58.8
4 お墓や納骨堂のこと	206	42.9
5 役所での手続きのこと	223	46.5
6 その他	6	1.3
7 知りたいことはない	61	12.7
全体	480	100.0

令和3年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【葬送について】

Q13. あなたがQ12で回答したことを知りたいのはなぜですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 亡くなった後に残される家族や親族に迷惑をかけたくないから	250	61.6
2 亡くなった際の対応を任せられる家族や親族がいないため、誰が対応してくれるのか不安だから	110	27.1
3 自分が生きているうちに決めてしまいたいから	126	31.0
4 家族・親族が亡くなった時に役立つと思うから	214	52.7
5 その他	5	1.2
全体	406	100.0

Q14. Q12で回答したことについて、あなたはどのようなところから情報を得たいですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 インターネット	292	70.9
2 書籍	89	21.6
3 新聞	74	18.0
4 チラシ	19	4.6
5 テレビ	59	14.3
6 セミナー・研修会	37	9.0
7 葬祭業者	97	23.5
8 弁護士・司法書士・行政書士	42	10.2
9 終活カウンセラー	40	9.7
10 行政	81	19.7
11 わからない	43	10.4
12 その他	4	1.0
全体	412	100.0

Q15. あなたは札幌市や札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会が行っている取組を知っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

※ 札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会とは…

札幌市では、少子高齢化に伴う将来的な火葬件数並びに無縁墓及び無縁遺骨の増加等の課題に対応するため、令和元年度に「札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想」を策定しております。この基本構想では、将来の目指す姿として「みんなが尊厳ある葬送を実現できるまち～葬送に不安なく、安心して暮らし続けるために～」を掲げており、この目指す姿の実現に向けて、「札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会」を設置し、本構想を推進しています。

	回答数(n)	割合(%)
1 札幌市のホームページにおける葬送に関する情報発信	55	11.5
2 札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会公式Twitterによる葬送に関する情報発信	11	2.3
3 札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会のキャッチコピー作成	3	0.6
4 札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会のロゴマーク作成	2	0.4
5 札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会の各委員が発信する情報	5	1.0
6 その他	0	0.0
7 知っているものはない	415	86.5
全体	480	100.0

Q16. あなたは、将来、自分自身が孤立死してしまうかもしれないと不安に思っていますか。

※ 孤立死とは…

「一人暮らしの主が高齢者が、誰にも看取られることなく亡くなってしまい、その後、数日間以上経過してから遺体が発見されること。」を指します。
遺体の発見後に親族が見つかったとしても、遺体や遺骨の引き取りを拒否され、引取者のない遺骨となってしまう場合があります。

	回答数(n)	割合(%)
1 不安に思っている	78	16.3
2 少し不安に思っている	159	33.1
3 あまり不安に思っていない	165	34.4
4 不安に思っていない	78	16.3
全体	480	100.0

令和3年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【葬送について】

Q17. あなたが自分自身の孤立死を不安に思う理由は何ですか。最も当てはまるものを一つだけ選んでください。

	回答数(n)	割合(%)
1 一人暮らしをしており、そばに頼れる家族や親族、知人がいないから	61	26.0
2 今は家族と暮らしているが、将来一人で過ごすことになると思うから	164	69.8
3 その他	10	4.3
全体	235	100.0

Q18. あなたは、将来、ご家族が孤立死してしまうかもしれないと不安に思っていますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 不安に思っている	73	15.2
2 少し不安に思っている	162	33.8
3 あまり不安に思っていない	158	32.9
4 不安に思っていない	87	18.1
全体	480	100.0

Q19. あなたがご家族の孤立死を不安に思う理由は何ですか。最も当てはまるものを一つだけ選んでください。

	回答数(n)	割合(%)
1 交流はあるが、1人暮らしの親などと離れて暮らしているから	79	33.8
2 親などとの関係が疎遠になり交流がほとんどないから	31	13.2
3 今は一緒に暮らしているが、将来家族が1人暮らしになるかもしれないから	116	49.6
4 その他	8	3.4
全体	234	100.0

Q20. あなたは孤立死の防止や万が一孤立死した場合の備えとして支援やサービスを利用したいと思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 利用したい	304	63.3
2 利用したくない	176	36.7
全体	480	100.0

Q21. あなたは孤立死の防止や万が一孤立死した場合の備えとしての支援やサービスが有料の場合でも利用したいと思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 利用したい	217	71.6
2 利用したくない	86	28.4
全体	303	100.0

Q22. あなたが孤立死の防止や万が一孤立死した場合の備えとして利用したい支援やサービスはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

※1 成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不十分な方の契約行為を支援する仕組みのこと。

※2 任意後見制度

自身に十分な判断能力があるうちに、判断能力が低下した場合に備えて、あらかじめ自身が選んだ人(任意後見人)に、代わりにしてもらいたいことを契約(任意後見契約)で決めておく制度。

※3 死後事務委任契約

生前の段階で、自身が亡くなった後の手続きや身辺整理などを第三者に委任する契約のこと。委任先は弁護士、司法書士など。

	回答数(n)	割合(%)
1 1週間のうち、複数回電話でのやり取りを行い、状況を確認する「見守り」	113	53.8
2 家電製品の使用を感知して、家族や親族に連絡が届くITを活用した「見守り」	97	46.2
3 認知症などで、判断能力が衰えてきた時に備え、成年後見制度※1による「任意後見人の手配※2」	98	46.7
4 遺体の引取や葬儀の手配、死後の手続き、遺品の整理などを生前のうちに契約する「死後事務委任契約※3」	94	44.8
5 その他	2	1.0
全体	210	100.0

**令和3年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【葬送について】**

Q23. あなたは「友引の日」の火葬について、どのように感じますか。

※ 友引とは…
六曜（「大安」や「仏滅」等）のうちの一つ。葬儀や火葬を避ける傾向がありますが、政令市のうち半数以上は友引にも開場し火葬しています。
現在、札幌市にある2つの火葬場はどちらも年間60日程度ある「友引の日」を全て休場日としています。今後の火葬件数の増加に対応するため、その一部を開場するなど火葬場の休場日のあり方について検討しています。

	回答数(n)	割合(%)
1 抵抗がある	51	10.6
2 やや抵抗がある	95	19.8
3 あまり抵抗がない	168	35.0
4 全く抵抗がない	114	23.8
5 わからない	52	10.8
全体	480	100.0

Q24. あなたご自身が葬儀に関わる場合、「友引の日」に火葬を行っても良いと思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 そう思う	234	48.8
2 そうは思わない	116	24.2
3 わからない	130	27.1
全体	480	100.0

Q25. あなたは親族の中で「友引の日」以外の火葬の要望があった場合でも「友引の日」に火葬を行いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 行う	93	40.1
2 行わない	51	22.0
3 わからない	88	37.9
全体	232	100.0

Q26. あなたは今後の札幌市の火葬場の休場日についてどのようにお考えですか。

	回答数(n)	割合(%)
1 これまでどおりが良い	110	22.9
2 「友引の日」の一部を開場するのが良い	79	16.5
3 「友引の日」の休場を止め、毎週決められた曜日に休場とするのが良い	34	7.1
4 どのような形でも構わない	170	35.4
5 わからない	87	18.1
全体	480	100.0

Q27. あなたは札幌市内にある2つの火葬場について今後どのように開場したら良いと考えますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 2つの火葬場とも同じ開場日で良い	53	11.0
2 どちらかの火葬場が必ず開場しているほうが良い	237	49.4
3 どちらでもよい	102	21.3
4 わからない	88	18.3
全体	480	100.0

令和3年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【葬送について】

Q28. 性別

	回答数(n)	割合(%)
1 男性	240	50.0
2 女性	240	50.0
全体	480	100.0

Q29. 年代

	回答数(n)	割合(%)
1 30歳代以下	120	25.0
2 40歳代	120	25.0
3 50歳代	120	25.0
4 60歳代以上	120	25.0
全体	480	100.0

Q30. 家族構成

	回答数(n)	割合(%)
1 一人暮らし	92	19.2
2 自分と配偶者(夫婦のみ)	132	27.5
3 自分と配偶者と子ども(夫婦と子ども)	170	35.4
4 自分と子ども(父と子ども、または母と子ども)	12	2.5
5 自分と親	51	10.6
6 自分と配偶者と親(夫婦とどちらかの親)	12	2.5
7 その他	11	2.3
全体	480	100.0